

食育月間の取り組み

所属団体名	東大阪市私立保育会、東大阪市集団給食研究会	
施設等名	ひしの美東保育園	
取組の名称	お米作り 田植え体験	
実施時期	令和 6 年 6 月11日(火)	
取組みの目的	☐共食の推進 ☐朝食の摂取 ☐栄養バランスの良い食事の摂取 ☐野菜の摂取 ☐生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☐よくかんで味わって食べる ☐栄養成分表示への理解促進 ☐食品の安全性に関する知識の普及 ☒農産物の栽培体験の機会提供 ☐食品ロスの削減 ☐伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	4歳児・5歳児が、5月に種もみを発芽させ、苗まで育てたものを使い、田植え体験を行いました。 園庭に作った田んぼの中に手を入れて、土の手触りを感じながら植えると、「やわらかい」「つめたい！」「気持ち悪い～」と様々な声が聞かれました。 これから長い月日をかけ、育てていきます。 秋の稲刈り、脱穀体験をした後、釜で炊いてみんなでいただく予定です。 ほぼ一年を通しての貴重な体験を子どもたちの食育活動にいかしたいと思います。      	

食育月間の取り組み

所属団体名	東大阪市私立保育会	
施設等名	社会福祉法人やまゆり会 やまゆりこども園	
取組の名称	・夏野菜の栽培 ・栄養を知ろう ・旬の食材を知る	
実施時期	令和6年4月下旬～(継続中)	
取組みの目的	☒ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☒ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☒ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☒ よくかんで味わって食べる ☒ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☒ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	●農産物の栽培体験(夏野菜)【2歳～5歳】 プランター 夏に収穫出来る野菜を学び、子ども達と一緒に何の野菜を育てたいか話し合い、栽培体験を行った。 〈取り組みの目標として〉 ・野菜の種類や生長過程を学ぶ。 ・水やり等を通して当番活動(責任感)や、発見や気づきを大切にする。 ・育てた野菜を食べる事により、苦手な野菜にも挑戦しようとする姿や、他の野菜にも興味を持ち、学びが深まる。 ・野菜が出来た時の喜びを共有し、また次も頑張ろうと意欲を高める。 ↳《結果》 各野菜の生長過程を写真にし保護者にも見てもらう事により、子ども達との会話の1つになったり、家での料理にも食材として使ってみたりと保護者の方にも良いきっかけになったようでした。 ●ライフ出前型「食育体験学問」に参加した。 〈内容〉 ・五大栄養素を学ぶ。 ・根菜、葉野菜、実のなる野菜の生長過程の違いを学ぶ。 ・1日の野菜摂取量 《結果》 子ども達に分かりやすくパネルやクイズ形式で学べたり、覚えやすいよう手で表現したりと工夫があり、楽しんで取り組む事が出来た。	

●季節の野菜に触れる。

〈内容〉

- ・その時期の旬の野菜を学ぶ。

(例) 筍の皮剥き えんどう豆のさや剥き等

《結果》

家で食材として使うことが少ないようで、子ども達も新しい発見に繋がったり、興味を持って学ぶ姿があった。また、調理前と調理後の野菜の変化を五感で感じより美味さを実感する事が出来ました。



食育月間の取り組み

所属団体名	東大阪市集団給食研究会	
施設等名	むぎの穂第二保育園	
取組の名称	園庭 菜園でのきゅうりの収穫 クラス全員での給食・おやつのお食 給食便りの配布・給食の展示	
実施時期	きゅうりの収穫→6月～8月 クラス全員での給食・おやつ、給食の展示→毎日 給食便りの配布→毎月	
取組の目的	✓ 共食の推進 □朝食の摂取 ✓ 栄養バランスの良い食事の摂取 ✓ 野菜の摂取 ✓ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	✓ よくかんで味わって食べる ✓ 栄養成分表示への理解促進 □食品の安全性に関する知識の普及 ✓ 農産物の栽培体験の機会提供 ✓ 食品ロスの削減 □伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	<菜園でのきゅうりの収穫> 園庭の菜園で、きゅうりやミニトマトを栽培し、食べごろのものがあつた時に、子どもたちに、かごをもって収穫してもらう。 菜園は、子どもたちが、毎日のように活動する園庭にあり、きゅうりやトマトが、少しずつ大きくなる様子、色が変わっていく様子を観察できる。 子どもたち自身が、収穫することで、野菜の苦手な子も食べてみよう、という意欲を引き出すことにつながっている。 <クラス全員での給食・おやつのお食> 給食とおやつは、各クラスで、全員そろつて食べる。 食べる前に、保育士が今日の献立や、よく噛んでゆっくり食べることなど、声掛けしてから、食べ始める。 <給食の展示> お迎えの時に、必ず通る廊下に、給食の展示台を置いている。 今日の献立、使っている食材についての説明、実際の献立を展示し、保護者の方にも見てもらう。 <給食便りの配布> 献立、食材のほかに、給食で人気のレシピや、旬の食材についてお知らせしている。	

食育月間の取り組み

所属団体名	東大阪市 私立保育会	
施設等名	若宮森の子こども園	
取組の名称	① トマト、なすび、きゅうり 植え(園庭) ② さつまいも 植え(畑)	
実施時期	① 6 月初旬 ② 6 月中旬	
取組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☐ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☐ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☒ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	① ・目的 自分たちで苗を買いに行き、育て、収穫する。 ・対象 5 歳児 ・場所 園庭 プランター ・取り組み チーム活動・・・何を植えるか話し合いをし、自分たちで苗を買いに行く。 苗を植え、毎日の水やり当番を話し合う。 収穫し給食やおやつの時間に食べる。 → 水やりをすることで「花が咲いた！」「小さいきゅうりになった！」など成長に気づき、大喜びで保育士や保護者に報告する姿が見られる。 収穫までの過程を体験し、その後の調理し食べるという経験につなげることにより、苦手な野菜を少しでも食べようとする姿が見られる。 ② ・目的 苗を植え秋の収穫を楽しむ ・4・5 歳児 ・場所 畑 ・取り組み 5～6 月にイチゴの収穫体験をし、おいしく頂いた思い出を話しながら、今度はお芋の苗を植え、土に触れる経験を増やすとともに、水やり、草抜きなど植物を育てる大変さを伝える。 また、秋にお芋ほりができることを楽しみにして期待を膨らませる。	

食育月間の取り組み

所属団体名	東大阪市私立保育会	
施設等名	西若宮こども園	
取組の名称	自分たちで苗を植え育て、収穫を楽しむ	
実施時期	5月～7月中旬	
取組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☐ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☐ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☒ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	苗を植え、収穫までの過程を実体験し、育てる事の大変さや収穫する喜び、そして食べることが出来ることに対して感謝の気持ちを持つ。 実際に自分たちで苗を買いに行く前に何を育てるのかクラスで話し合った(きゅうり、プチトマト、なす、すいか、ピーマンなど) いつも目にしている野菜は最初からそれぞれの野菜の形ではないことを知る。 ・毎日の水やり、苗が成長し、実が付きだす頃には、観察する習慣が付き始める子どももいた。収穫までの過程を実体験し、収穫する喜びを経験し、その場で食べたり、給食で調理し食べることで今まで苦手で食べようとしなかった子どもが「自分で育てたいちご、プチトマト！」と言いながら食べる姿が見られた。 ・10月の収穫に向けたさつまいもの苗植えではただ苗を植えるのではなく、根や葉の向きに注意しながら植え、今から収穫した後のお芋を使ったクッキングを楽しみにしている姿が見られた。	

食育月間の取り組み

所属団体名	東大阪市集団給食研究会	
施設等名	うみがめ保育園	
取組の名称	玉ねぎひき、じゃが芋掘り	
実施時期	6 月	
取組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☐ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☐ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☒ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	理事長先生の畑で栽培した玉ねぎひき、じゃが芋掘りを子ども達に体験させてあげます。掘ったじゃが芋は、その日のおやつとして、調理場でじゃがバターを作ります。収穫を喜び、食すことで、心も体も満たされます。そして、農作物に対する興味を持ってもらいます。	

食育月間の取り組み

所属団体名	東大阪市私立保育会	
施設等名	めだ"かこども園	
取組の名称	玉ねぎの収穫・皮むき・まろごとオニオンスープ	
実施時期	5月・6月	
取組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☒ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☒ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	・畑の玉ねぎを自分で収穫する。 (玉ねぎの育つ様子を見る。) ・玉ねぎの皮をむく。 (ど"まどが皮でど"にからが食べられる所"が知る。) ・皮をむいた玉ねぎで1人1つ丸"とのオニオンスープを作る。 ・取りたて"の新玉ねぎの味や食感を味わう。 3~5歳児対象	